

陶磁器勉強会（基礎編）カリキュラム

■期 間：令和6年7月～11月

■時 間：18:30～19:30

■場 所：窯業技術センター 2F 視聴覚研修室

回	開催日	テーマ	概 要
1	7/11 (木)	陶 磁 器 原 料 (武 内)	■主な陶磁器原料と陶土の製造方法 陶磁器原料には、陶石・けい石・粘土・長石・石灰石など、多くの種類があります。陶土メーカーではこれらの原料を調合して、焼成条件に応じた陶土や釉薬を製造しています。原料の特徴に応じた製造方法について説明します。
2	7/25 (木)		■陶土の粒度と検査方法 陶土を作る重要な工程の「すいひ」とはなにか、さらに陶土の粒子の大きさはどのようにして検査しているのかについて説明します。
3	8/8 (木)	石 膏 型 ・ 成 形 技 術 (狩 野)	■石膏の種類と特徴について 各種石膏の特徴や陶磁器用型材として使用される焼石膏の作製条件による物性変化及び型の作製方法について説明します。
4	8/22 (木)		■各種成形方法の特徴について 排泥鑄込み成形や圧力鑄込み成形、機械ロクロ成形、ローラーマシン成形など量産のための各種成形方法の特徴や使用する陶土の調整方法等について説明します。
5	9/12 (木)	釉 薬 (吉 田)	■釉薬データベースについて センターが所蔵する 46,000 ピースに及び釉薬データベースを一斉に並べて、どのような釉薬があるか実際に目で見て、触れて、釉薬の色や質感を実感していただきます。
6	9/26 (木)		■釉薬の種類と特徴について 県内で長年使われている石灰釉や青磁釉の原料や特徴及び釉薬見本品を使って焼成雰囲気や温度について説明します。また、石灰釉や青磁釉を作る際に使用する原料や配合割合の決め方について説明します。
7	10/10 (木)	焼 成 技 術 (河 野)	■焼成炉の種類について 普段、見慣れている窯はどのような窯でしょうか。ここでは、産地で使用されている窯の種類や素焼き、本焼き（酸化と還元）、上絵焼成といった焼成方法の違いについて説明します。
8	10/24 (木)		■焼成方法について センターの焼成炉を用いて、どのような手順で焼成するか説明を行うとともに、実際に窯積み作業を体験していただきます。
9	11/14 (木)	品質管理技術 (吉 田)	■欠点の種類と内容について これまで技術相談で対応した陶磁器に発生する欠点の種類と主な欠点の具体的内容とそれらの再発防止方法などについて、写真を使いながら説明します。
10	11/28 (木)		■鉄粉、スボサシ不良の発生原因について 鉄粉やスボサシ不良が発生した製品を見ながら、どなたでも不良原因が分る調査の方法について、実習形式で解説します。参加者が、不良品を持って来られた場合、その原因も一緒に探します。

陶磁器勉強会（基礎編）の参加申込について

この勉強会は、少人数制（15名程度）による勉強会として10回シリーズでの参加を推奨しますが、都合により特定のテーマのみの参加も可とします。

但し、参加希望者多数の場合は、1社1名とさせていただきますので、予めご了承願います。

参加ご希望の方は、下記「参加申込書」にご記入いただき、窯業技術センターあてFAXでお申し込みください。

FAX：0956-85-6872

申込締切 令和6年7月2日（火）

不明な点がございましたら右記担当者までご連絡ください。

長崎県窯業技術センター
担当者：陶磁器科 ^{よしだ}吉田、^{こうの}河野
TEL 0956-85-3140

陶磁器勉強会（基礎編）参加申込書

参加者氏名		会社名	
連絡先	TEL/ FAX/		
主な担当業務			
参加希望テーマ (希望する方に○を記入)	☐ 全テーマ参加 ☐ 特定テーマ参加		
その他	※特に知りたい内容、興味がある内容を自由にお書きください		

※特定テーマのみ参加を希望される方は、下記カリキュラムの参加希望欄に○を記入してください。

回	開催日	テーマ	概要	参加希望
1	7月11日(木)	陶磁器原料	主な陶磁器原料と陶土の製造方法	
2	7月25日(木)		陶土の粒度と検査方法	
3	8月8日(木)	石膏型・成形技術	石膏の種類と特徴について	
4	8月22日(木)		各種成形方法の特徴について	
5	9月12日(木)	釉薬	釉薬データベースについて	
6	9月26日(木)		釉薬の種類と特徴について	
7	10月10日(木)	焼成技術	焼成炉の種類について	
8	10月24日(木)		焼成方法について	
9	11月14日(木)	品質管理技術	欠点の種類と内容について	
10	11月28日(木)		鉄粉スポサシ不良の発生原因の見つけ方	